

思い出と真珠胸に卒業

三浦・名向小

三浦市立名向小学校(同市三崎町諸磯)で20日、卒業式が行われた。6年生47人が胸に着けていたのは、地元の小網代湾で育ったアコヤガイから自ら取り出した三浦真珠をあしらったネクタイピン。「一生の宝物にしたい」と目を輝かせて巣立っていった。(鴻谷 創)

地元産を自ら取り出し

で、会場の体育館には真珠をモチーフにした飾りがつるさ

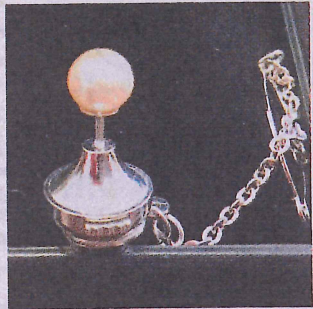
宝物にしたい」と笑顔だった。



真珠を胸に笑顔を見せる子どもたち 三浦市立名向小学校

卒業式後、同隊の出口浩理(右)が「隊を設立して3年、まさかこんなに早くプレゼントできるとは思わなかった。皆の熱心さが形になった」と子どもたちにあいさつ。菅野愛奈さん(左)は「貴重な体験ができて三浦の子で良かった。真珠には皆との思い出が詰まっているので、一生の

市などが進める海洋教育の一環で、子どもたちはNPO法人「小網代パール海育隊」から指導を受け、4年生の時から養殖について学んできた。5年生の7月にアコヤガイへの「核入れ」を行い、6年生の4月に真珠を取り出す「浜揚げ」を体験。真珠は倉茂宝飾(横須賀市大滝町)がネクタイピンに加工し、同隊が子どもたちに贈った。卒業式は「未来へつなぐ輝く真珠のように」がテーマ



ネクタイピンに加工され、子どもたちにプレゼントされた真珠「浜揚げ」に挑戦する子どもたち(昨年4月)



寄贈した「海の幸」を手にする石森さん(左)と山梨町長 一葉山町役場

の研究者との交流のま礼として描かれたもので、来月から町内で展示される。藤田は東京に生まれ、26歳のときにフランスに渡ってピカソらと交流。乳白色の絵肌に線描する独自の作風を生み出した。

さんか藤田とは全くノリとタコが軟体動物として同じ仲間であると説明したところ、藤田が感激して描いたという。正孝さんは生前、葉山に住みたいと話していたといい、正孝さんの供養と「子

自衛隊の魅力 中学生がラジオ



収録で海上自衛隊の田岡さんに一横須賀市大滝町

横須賀

横須賀市を拠点とする地域ラジオ放送「FMブルー湘南」の特集番組「中学生の質問箱」に、海上自衛隊の潜水艦「せとしお」の先任伍長・田岡雄一さんが出演し、自衛隊の仕事などをテーマに語る。放送は25日午後3時半〜4時(再放送は28日午後4時〜4時半)。収録はすでに終えた。質問するのは、市立坂本中2年の田中萌依さん。仕

暮らし彩るサクラ紹介

立学や衣類など12占展示

横須賀

ではなく、け込んで

海洋研 きよ

横須賀

MSTE(町)の活動に親しんで、機構の研究ナーが21・人文博で開かれ講演のに面した部構成。海相模トラの活動、究などに語る。セミナー博物館の深海生た「JAミニ展」TECCの伝えるパ調査船